



田植え体験実施

川崎市内の小学5年生と中学1年生を対象にして実施している「自然教室」で、5月20日～6月2日にかけて田植え体験をしました。今年は西中原中、上作延小、さくら小、王禅寺中央小の4校、合計726名がそれぞれ半日ずつ裸足で田んぼの中に入って稲を植えました。ちょうど田植えの時期にきている学校がこのようなプログラムを実施できるのは、田んぼを提供してくれる地元の協力があるからです。稲は3～4本ずつ、30cmの幅で、15cm間隔にまっすぐ植えています。田植えの当日は地元の人が大勢出てきてくれて、線引きをしたり植え方の指導をしてくれたり、手伝いをしてくれました。秋にはその時期に来ている別の学校が刈入れをします。収穫したお米は、田植えをした学校と刈入れをした学校に持っていくことにしていますが、そのお米を利用して収穫祭をしたり、食事会をする学校もあるようです。楽しみですね。この他にもいろいろな場面で、地元の方々の協力をいただいている少年自然の家です。



所長のひとりごと 24

三井 一 則

梅雨のさなかの今年の六月のこの日を、後年どんな年として思い出すだろう。

【小惑星「イトカワ」まで往復7年、60億キロを旅した探査機「はやぶさ」が帰還し、オーストラリアの砂漠に落ちたカプセルが回収された…大切なカプセルを地球に届け、自らは大気圏で燃え尽きてしまう…】

メディアのメッセンジャーも感動して話を伝えていた。自分も地球への帰還をテレビの特集番組で伝えているのを知ってから、にわかファンとして人知れず待ちわびていたうちのひとりである。門外漢であっても、7年間の宇宙の旅を終えて地球への帰還を果たしたことに、困難を乗り越えて夢を実現させたスタッフの技術力と優秀さに驚かされる。

それから十数時間後、地球の反対側での日本のイレブンの大活躍が報じられた。後日、「はやぶさ」が最後に見た地球の修正写真が公開された。そこにはアラビヤ半島付近が写っている。写真の左後方へ向かってはアフリカ大陸になるのだろうか。まるで宇宙からの最後の応援をして燃え尽きてしまったようだ。

2010. 7. 1

5・6月の事業

●受け入れ事業

5・6月に受け入れたのは学校団体46、青少年団体6、事業5、その他団体1、11グループ、30家族、日帰り11団体、合計116団体を受け入れました。これは例年並みの受入れです。

●自然紀行

5月8～9日に「山菜採りと清里ハイキング」を実施しました。タラノメ、コシアブラ等を採集して持ち帰って頂くと共に、予め職員が採っておいた山菜で、山菜三昧の食事をしてもらいました。参加者42名。

6月5～6日に「八ヶ岳最高峰赤岳登山」を実施しました。天候に恵まれ、残雪を踏みしめながら歩く所もありましたが無事山頂を極

め、遠く北アルプス、南アルプス、妙高を望むことができました。参加者15名。

12・13日に「入笠山ハイキングとスズラン」を開催しました。スズランは4部咲きでしたが香りはあたりに漂っていました。また、霧ヶ峰高原の八島湿原にも行き、高層湿原とエゾノコリンゴ等の花を観察しました。参加者10名。

●森の探偵団

親子で連続3回参加する事業の第1回目を5月15～16日に開催しました。45名の参加があり、和気あいあいと野外活動、バーベキュー等の活動をして頂きました。第2回目は9月に開催します。

●自然探検隊

川崎市青少年科学館と共催で実施している事業です。様々な野外活動を通して川崎と富士見の子ども

の交流を図ることを目的にしています。6月27日は富士見の子ども顔合わせで、バーベキューを楽しみました。この子たちが7月に川崎に行き、川崎の子供と一緒に科学実験をしたり多摩動物園に行ったりすることになっています。10月には川崎の子どもたちが八ヶ岳にやってきて交流を深めます。27日の参加者は15名でした。

●ふじみ星空観望会

5月14日と6月11日に開催しました。5月は快晴に恵まれ、星座、星雲、星団等を満喫することができました。18名参加。6月は曇天で、残念ながら星空を望むことはできませんでしたが、17名の参加がありました。星座解説のほか、6月26日の宵に見られる部分月食について詳しく解説いたしました。

赤岳山頂に響いた木遣り

六月に行われた自主事業「八ヶ岳最高峰赤岳に登ろう」で、お客様と一緒に赤岳に行ってきました。残雪と新緑、抜けるような青空と、最高の登山でした。山頂の赤岳神社で行われた開山祭後、思いがけず御柱祭に立ち会うことができました。地元の方が担ぎ上げた小さな柱を神社の四隅に立てられた古い御柱と交換する儀式で、その祭に木遣りが唄われます。木遣り名人に混ざって、地元の小学生の男の子が元気に唄ってくれました。澄んだ声が山頂の清らかな風に乗って遠くまで響き渡り、とても厳かな気持ちになりました。諏訪では、御柱年の今年中、上社、下社のほかに、小宮と呼ばれる地域の小さなお宮の御柱祭が行われます。(K)



自然いろいろ

へ高い所は何故寒いのか？

先日、自然教室できている子どもに質問されました。「太陽に近づくと熱いの」、川崎より千mも太陽に近い所にある八ヶ岳はどうして寒いのか？というものです。さあ、高度が上がると気圧が下がることから説明しなくちゃ。でも何故気圧が下がるかはちょっと省略して「おやつにポテトチップを持って山登りしたことない？」「あるよ」「山の上でポテトチップの袋はどうなった？」「ふくらんでたよ」「何がふくらんだとおもった？」「中の空気だよ」「そう、高い所へ行くと空気はふくらむんだよ。低い所でこのくらいの空気は、高いところへ行くとこんなにふくらんでしまうんだよ」「ふーん」「低い

所ではこのくらいだから、ここに子どもが5人入れるとするよ。じゃ、高い所ではこんなに広くなるから子どもは何人くらい入れると思う？」「10人くらいかな」「では低い所の5人に温度を100度あげるから、皆で分けてもらうよ。1人何度分けてもらえるかな？」「20度」「そうだね。では高い所の10人にも100度分けてあげると、1人何度分けてもらえるかな？」「10度」「そうだね。高い所の10度、低い所の20度、どちらの方が低い？」「高い所の方」「そう、だから空気がふくらむと中の温度は低くなるんだね。わかった？」「うん、わかった」「太陽にうんと近いところはアッチッチだけど、地球上では100m上ると0.6度くらい下がるんだよ。覚えておいてね」突然だったのでこんな答え方をし

ましたが、これは詭弁です。まさかったなあと反省しています。本当は海の底の水圧が高いように、大気圧は低い所で高く、高い所は低くなっていることからきちんと説明しなければいけませんでした。千m上昇するとおよそ10%ずつ気圧は下がります。



また、仕事とかエネルギーを小学生にどのように説明したらよいのか判らなかつたので、思いつくまま話したのですが、本当は空気が膨張することによって、周囲を押

しのけるという仕事をするわけで、その分、内部エネルギーを使ってしまつので気温が下がるのです。このことをどうやって説明したらよいかとつさに判らなかつたのです。子どもへの説明は難しいなと改めて感じ、反省もしました。

なお、0.6度は大体の数字で、乾燥した空気と湿った空気ではちがいます。乾燥した空気の場合は100m上ると約1度、湿った空気の場合は100m上ると約0.5度下がります。湿った空気の場合は上昇して冷えると水滴になりますが、その時潜熱を放出します。そのため温度が上昇し、乾燥した空気より減率が少なくなっているのです。この減率のことを乾燥断熱減率、湿潤断熱減率といい、私は高校生のときに授業で習いました。そんなことを今思い出しました。

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から1つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産にお持ち帰りいただきます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。惑星、星雲や

星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

少年自然の家に宿泊して、ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。昨年より多摩市民館前発着の貸切バスで送迎しています。

●親子きずなキャンプ

親子で川遊びや野外活動をし、そのきずなを深めていただきます。
・9月11日～12日

●諏訪神社小宮祭に参加しよう

諏訪地方伝統の御柱祭の年。地域の神社の御柱祭に参加し、諏訪の文化に触れていただきます。

・10月2～3日

●ワカサギ釣りとお諏訪湖めぐり

諏訪湖をめぐり、ワカサギ釣り、野鳥観察・・・。諏訪湖を堪能していただきます。

・11月13～14日

費用、内容、申し込み方法等、詳細については、ホームページをご覧ください。
なるか、お問い合わせください。

あとがき

浜名湖で訓練中のボートが転覆し、中学1年の女子が死亡するという痛ましい事故が起きました。静

岡県立の青少年の家を利用していた学校の事故です。青少年の家には県の職員は1人もいません。川崎市ハヶ岳少年自然の家と同様、指定管理者に全面的に管理運営が委託されていたのです。私たちはこの事故を他所のことと考えず、絶対に事故を起こさないということとを肝に銘じ、安全管理に今まで以上に配慮し、徹底してまいります。

川崎市ハヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社